



箱根教育合言葉

箱根を愛し かしく やさしく たくましく

令和6年9月9日 宮城野保育園 発行

今年の夏は、地震や台風の怖さを体験しました。南海トラフ地震のプレートで起きた地震のことをニュースで見て、次の日避難訓練を急遽行いました。訓練を行った夜に小田原や箱根も大きな地震がありました。子ども達はさぞ驚いたことでしょう。横揺れから始まる地震とは違い、下から突き上げるような地震は頭を守ることに必死になりました。いつ何時の災害にも備え、訓練をこれからも重ねていきます。子ども達はいつも真剣に訓練に参加しています。頭を守る行動をとる「ダンゴムシポーズ」はお手の物！恐怖体験としてではなく、自分を守る行動として前向きな気持ちで大人も子どもも身に着けていきたいものです。

2学期がスタートしました。子どもに体験してほしい行事が盛りだくさん計画されていますが、行事は、主体的に楽しく取り組むものです。〇〇のために練習するのではつまらない！「させる」活動は子どもの主体性を奪います。やらされていると感じるとその行事が終わると途端にやらなくなったりするのです。子どもがやってみたいと自ら思い、参加できるよう子どもと共に計画を立てていきます。保護者の皆様、どうかお子さんの夢中になっている姿を応援していただき、過程を楽しんでほしいのです。そしてお子さんの経験を共有し一緒に育ちを楽しんでいきたいです。2学期もどうぞよろしくお願い致します。

9月2日宮城野保育園の仲間が集合

長い夏季保育が終了し、久しぶりに登園してきた子ども達に玄関で挨拶を交わしました。年長児の玄関での独り言のメモを紹介します。

「なつやすみ、おわりだ」「ひさしぶりにあえるんだ」靴をしまいながら、私のほうに振り向いて「なんだかきんちょうする！」

自分の気持ちを素直に言葉に表し、胸に手を当て緊張している姿には成長を感じました。早速保育室まで後ろをついていくと、持っていたたくさんの荷物を地面に置き、友達に抱き着いてみたり、手をあげてハイタッチをしたりとそれぞれが友達に会えた喜びを表現していました。そのあと、あんなに再会を喜んでいたはずが、物の取り合いで激しいけんかとなり、怒って保育室を出ていく姿に。子ども同士の感情のぶつかり合いからの自己主張の仕方や相手のことを思う気持ち等園では学びがたくさんです。

さてクラス保育はじめ式の様子はどうだったかというところ…

お見事！それぞれがこれから始まる行事を聞いてワクワクしたり、自分の気持ちを発言したり友達の話聞いたりと短い時間でしたが、参加していました。

クラス保育始め式が終わり、園庭に行く時、玄関で靴に履き替え、年長児の一言。「さあ、あそぶぞ！」と駆け出していった姿にとっても嬉しい気持ちになりました。暑い夏を乗り越え、また逞しくなった宮城野保育園の園児達。環境を自ら選び、主体的な保育ができるように、毎日を大切に過ごしていきたいです。

こつつんこ祭り開催

地域の未就園児や園児の0.1.2歳児とその保護者が参加し、小さな夏祭りを体験しました。手作り金魚すくい、カラー氷、ヨーヨーすくい、アイスクリームさんのパープサート等サロン室は親子の笑顔でいっぱいになり、準備した職員も嬉しさでいっぱいになりました。参加していた保護者の会話も盛り上がり保護者が笑顔になると子ども達も自然と笑顔になり夢中で遊ぶ姿となっていました。

次回は10月23日です。たくさんの参加をお待ちしています。

